



# 京都市交響楽団

The Special Concert of  
the City of Kyoto Symphony Orchestra

特別演奏会

“New Year Concert”

# ニューイヤークンサート

2026 **1.11** 日 午後2時30分開演  
[午後1時30分開場]  
**京都コンサートホール**  
京都市地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分  
Sun, January 11, 2026 / 2:30PM Kyoto Concert Hall

2026年の幕開けは、

とびきりフレッシュな顔ぶれで  
動物をテーマにした名曲集!

ヴォーン・ウィリアムズ:「すずめばち」序曲  
*Vaughan-Williams: The wasps - Overture*

ヴォーン・ウィリアムズ: 揚げひばり  
—ヴァイオリンと管弦楽のためのロマンス★  
*Vaughan-Williams: The Lark Ascending  
—Romance for violin and orchestra★*

チャイコフスキー: バレエ音楽「白鳥の湖」op.20 (セレクション)  
*Tchaikovsky: The Swan Lake, ballet music op.20 (selection)*

ヴァイオリン

ルエン・リー  
Violin: Luan Li



©Kevin Condon

指揮

ロマン・レシエキン  
Conductor: Roman Reshetkin



©Oscar Chevillard

◆ルエン・リーの使用楽器:  
日本音楽財団から貸与された  
ストラディヴァリウス1735年製「サマズィユ」

協力: 日本音楽財団  
NIPPON MUSIC FOUNDATION

特別協力: Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

入場料 2025 11.8から発売

¥6,000 円 ¥5,500 円 ¥4,500 円  
¥3,500 円 ¥3,000 円 (舞台後方席)

U30 前売  
[一般発売に併せて販売] S ¥2,500 円 A ¥2,000 円 B ¥1,500 円  
※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご購入の際には年齢の確認ができる  
証明書のご提示をお願いする場合がございますので必ずご携帯ください。※オンライン  
チケット https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/ で販売 (チケットカウンター、チ  
ケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。※販売席数は限定。

U30 当日  
[当日残席がある場合のみ発売]  
S ¥2,500 円 A ¥2,000 円 B ¥1,500 円 C ¥1,000 円 D ¥1,000 円  
※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご購入の際には年齢の確認ができ  
る証明書のご提示が必要となります。※開演1時間前から発売 (当日券売場にてお  
買い求めください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は違いますが、座  
席指定はできません。

チケットご予約

- 京都コンサートホール 075-711-3231
- ロームシアター京都 075-746-3201
- 24時間オンラインチケット購入  
https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/
- チケットぴあ  
https://t.pia.jp/ Pコード 280-859
- ローソンチケット  
https://l-tike.com/ Lコード 53084

お問  
い合  
わせ

京都市交響楽団 075-222-0347 https://www.kyoto-symphony.jp/ →  
京都コンサートホール 075-711-3231 https://www.kyotoconcerthall.org/



主催: 京都市交響楽団 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市  
協力: 株式会社ドルチェ楽器 後援: (株)エフエム京都

協賛: ローム株式会社、介護付有料老人ホーム 京都ヴィラ

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた  
音楽との出会いをお届けします。



# 京都市交響楽団

特別演奏会

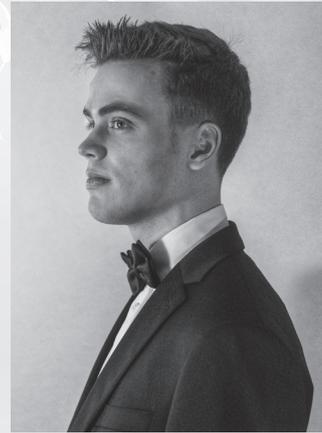
## ニューイヤーコンサート

指揮のロマン・レシェキンはフランスのニース出身で、2022年に第1回ひろしま国際平和文化祭 次世代指揮者コンクール(現・ひろしま国際指揮者コンクール)で第2位となったことがきっかけとなり、日本に活躍の場を広げている俊英。ヴァイオリンのルエン・リーは中国の上海出身、アメリカやヨーロッパの才能あるアーティストへの奨学・支援制度に次々と選抜されてデビューし、東洋思想とからめて作品を紹介するなど多彩な演奏活動を展開しています。そんな二人を迎えて、動物にまつわる名曲を集めて新年の幕開けを華やかにいどります。音楽の中で動物をどう描写するのかなど、各曲の捉え方やアプローチの違いを存分にお楽しみください。

### 指揮 ロマン・レシェキン

Conductor: Roman Reshetkin

ロマン・レシェキンは、指揮者である父とバレリーナである母というロシア人の両親のもとに生まれ、現在パリ在住のフランス人指揮者。ヴァイオリンで音楽の道を歩み始めてザハール・ブロン、オーギュスタン・デュメイ、パヴェル・ヴェルニコフ、ロラン・ドグレユなど数々の名教師のもとで学び、13歳の時にはモスクワで開催された第8回(2014年)若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール・ヴァイオリン部門で第2位を受賞した。父の足跡をたどって10代前半から指揮を始めると、すぐにその奥深さに取り憑かれ、その後パリ国立高等音楽院でアラン・アルティノグリユに師事してオーケストラ指揮の修士号を取得。これまで、カンヌ国立管弦楽団、リール国立管弦楽団、ピカルディ管弦楽団などフランス国内のオーケストラのほか、国外ではハンガリー、台湾、ポルトガルのオーケストラも指揮している。2022年、下野竜也が審査委員長を務めた第1回ひろしま国際指揮者コンクールで第2位を受賞。2026年の日本でのハイライトには、京都市交響楽団との初共演と、広島交響楽団への再登場が挙げられる。フランス音楽とロシア音楽への生来の愛着に加え、知られざる作曲家や作品の紹介にも尽力し、彼の創造的なプログラミングには、アメリカ、アルゼンチン、中国などクラシック音楽と伝統的に関わりを持たない国々の音楽や、スペイン、イギリス、イタリアなどコンサートで演奏されることが少ない国々の音楽が定期的に取り上げられている。また、現代作曲家、特にカミュー・ペパン、オスバルド・ゴリホフ、陳其鋼の音楽を精力的に広めている。



©Oscar Chevillard

### ヴァイオリン ルエン・リー

Violin: Lun Li



©Kevin Condon

中国上海出身のヴァイオリニスト、ルエン・リーは、2021年にヤング・コンサート・アーティスト・スーザン・ワズワース国際オーディションで第1位、また、同年のリリアン&モーリス・パーバッシュJ.S.バッハ・コンクールでも第1位を獲得した。2024-25年シーズンのハイライトには、東京交響楽団、バンゴウ交響楽団、スプリングス室内管弦楽団との協奏曲での共演が含まれる。また、リンカーン・センター室内楽協会とのアジアツアー、YCAとのアメリカツアーにも参加している。2025-26年シーズンには、ソリストとして大阪交響楽団および京都市交響楽団との共演のほか、リンカーン・センター室内楽協会のシーズン開幕公演への出演などを控えている。これまでにカーネギー・ホール、92Y、ベルリン・コンツェルトハウス、ドレスデン文化宮殿、ウィーン・コンツェルトハウスなど、主要な会場で演奏を行う。室内楽にも強い情熱を持つリーは、バード音楽祭、ベイ室内楽コンサート、ニューポート・クラシカル、マールボロ音楽祭、ヴェルビエ音楽祭、ミュージック・アット・メンロー、エンジェル・ファイア音楽祭、ティベット・ライズ音楽祭に出演。2020年カーティス音楽院で学士卒、2022年ジュリアード音楽院で修士、2024年アーティスト・ディプロマ修了。主に、アイダ・カヴァフィアン、キャサリン・チョー、ジョセフ・リンの各氏に師事した。現在はジュリアード音楽院でキャサリン・チョーのティーチング・アシスタントを務めている。日本音楽財団から貸与されたストラディヴァリウス1735年製ヴァイオリン「サマズィユ」を使用している。

室内楽にも強い情熱を持つリーは、バード音楽祭、ベイ室内楽コンサート、ニューポート・クラシカル、マールボロ音楽祭、ヴェルビエ音楽祭、ミュージック・アット・メンロー、エンジェル・ファイア音楽祭、ティベット・ライズ音楽祭に出演。2020年カーティス音楽院で学士卒、2022年ジュリアード音楽院で修士、2024年アーティスト・ディプロマ修了。主に、アイダ・カヴァフィアン、キャサリン・チョー、ジョセフ・リンの各氏に師事した。現在はジュリアード音楽院でキャサリン・チョーのティーチング・アシスタントを務めている。日本音楽財団から貸与されたストラディヴァリウス1735年製ヴァイオリン「サマズィユ」を使用している。

### ルエン・リー 使用楽器

### ストラディヴァリウス1735年製ヴァイオリン「サマズィユ」

この楽器は、1836年に楽器商のルジ・タリシオ(1796~1854)によってイタリアからフランスへ持ち込まれ、1909年にはサマズィユ家が所有していたことから「サマズィユ」と呼ばれている。1923年に楽器を所有することになったヴァイオリンの巨匠ミッシャ・エルマン(1891~1967)は「ストラディヴァリウスの中で最高の音色を持つ楽器の1つ」と1926年に手紙に記している。楽器の内側のラベルには製作時の年齢である91歳と書かれている。



### 日本音楽財団

日本音楽財団は、1974年に日本国内の音楽文化の振興と普及を目的として設立され、創立20年を迎えた1994年からは、西洋クラシック音楽を通じた国際貢献を目的として、弦楽器名器の貸与と事業を行っています。保有する世界最高クラスの弦楽器21挺(ストラディヴァリウス製ヴァイオリン15挺、チェロ3挺、ヴィオラ1挺、ガルネリ・デル・ジェス製ヴァイオリン2挺)を若手有望演奏家や世界で活躍する演奏家に国籍を問わず無償で貸与し、同時に、これら世界の文化遺産ともいわれる名器を次世代に継承するための保守・保全を行っています。また、楽器被貸与者による演奏会を日本国内外で開催し、名器の音色に触れる機会を提供しています。日本音楽財団の事業は、日本財団の全面的な支援により実施されています。

### 京都市交響楽団

City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置・運営に責任を持つ。(身近な存在として、市民に愛され誇りとされる)〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指し、京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、ロームシアター京都でのオペラやコンサートのほか、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会など多彩な活動を行っている。近年は小林研一郎、井上道義、大友直人、広上淳一らが常任指揮者を務め、2023年沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。2024年ヤン・ヴィレム・デ・フリントを首席客演指揮者を迎え、演奏の一層の充実を図っている。2026年には創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとしてさらなる発展を目指す。



©井上写真事務所 井上恵利

The Special Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra "New Year Concert"